
推薦入試に関するQ&A

《入試日程・募集人員について》

※入試要項をご覧ください。

《出願資格について》

➤ 評定について

質問1 推薦の出願条件となる評定に届くか分からないのですが…。中学校によって学力の差があると思いますが、それを考慮に入れた措置はありますか。

解答1 ありません。基準をクリアしていなければ、出願していただくことはできません。

質問2 評定が高い方が合格しやすいですか。

解答2 適性検査や面接等で同点になった場合は、評定の高い方が有利になります。

質問3 基準の内申点に1点届かないのですが、英検で何級を取っていればおまけをしてもらえますか。

解答3 英検などで優れた級を取得していても、基準に満たない方は出願できません。

質問4 評定とは、中学3年の1～2学期の9科目合計を指しますか。それとも中学1年～3年2学期までのすべての評定の平均を指しますか。

解答4 中学3年1～2学期の9教科の総合成績です。

質問5 出願資格に「9教科の成績合計が5段階評価で男子38以上、女子41以上の者」とありますが、実際にはもっと高い基準であって基準ぎりぎりの評定では足切りされるということがありますか。

解答5 そのようなことはありません。

質問6 中学3年の1学期まで現地校に在籍し、2学期から国内の公立中学に編入しました。一部教科にハンディキャップがあり、結果として「9教科の成績合計が5段階評価で男子38以上、女子41以上」という基準に達しない場合、何らかの考慮はされるのでしょうか。

解答6 個別の考慮はいたしません。

➤ 欠席日数について

質問1 学校の体育の授業で怪我をしたために入院し、欠席日数が基準を超えてしまったのですが、推薦の出願資格はありますか。

解答1 学校で起きた怪我が原因で入院しても、欠席日数が基準を超えている場合は、出願資格がありません。

質問2 中学校3年間の欠席・遅刻・早退を記入するのはなぜですか。可否に関係があるのですか。

解答2 欠席日数が基準を超えた場合は出願できませんが、その他の項目についてもチェックをしています。理由は、本校は推薦入試で

(1) 中学時代に9教科全てに力を注いできた生徒

(2) 生徒会・クラブ活動・学校行事など特別活動の面でも活躍し、充実した学校生活を送ってきた生徒

(3) 目立った活動はなくても、無遅刻・無欠席・美化・ボランティア活動などを率先して行うなど、堅実な中学校生活を送ってきた生徒

に入学してもらいたいと思っているからです。

質問3 出欠の記録は、12月のどの時点までの欠席日数を記入すればよいですか。担任が成績をつける日までの欠席日数ですか。それとも、終業式までの欠席日数ですか。

解答3 12月の終業式までの日数をご記入ください。

➤ 推薦入試の併願について

質問1 出願資格のところには「本校を第一希望とする」と書いてありますが、他校を併願で受験することはできますか。

解答1 他校を受験することは可能ですが、本校に出願した場合には①必ず本校を受験すること、②合格の際には必ず入学をすること、が条件となります。この2つの条件を確約することとして、学校長からの推薦書を提出していただいています。

質問2 貴校に出願しながら、他校も受験して合格した場合、貴校を受験しないという選択はできますか。

解答2 できません。出願条件に「本校が第一志望である」という条件がありますので、受験をしない、という選択肢はありません。

➤ 高校併設の私立中学・中等教育学校からの出願について

質問1 高校併設の私立中学とはどんな学校ですか。

解答1 例えば青山学院のように、中学から高校に内部進学できる学校のことです。

質問2 中等教育学校とはどんな学校ですか。

解答2 一般的には中学1～3年生、高校1～3年生というように3年区分で学年を表しますが、中等教育学校では1～6年生というように6年区分で学年を表します。高校併設の国立・公立中学校と捉えると分かりやすいです。

質問3 親の転勤のため、地方の中高併設の私立から高等部に入学したいのですが、推薦の出願資格はありますか。

解答3 全国どこであっても、中高併設の学校に通っている人には推薦での出願資格はありません。一般入試の出願資格があるので、ぜひ一般入試をご検討ください。

➤ インターナショナル校からの出願について

質問1 インターナショナル校に通っているのですが、推薦の出願資格はありますか。

解答1 インターナショナル校の方には推薦の出願資格はありません。

《調査書・推薦書・作文について》

➤ 調査書について

質問1 生徒会長や検定・資格はどのように評価されますか。ポイント制ですか。

解答1 お答えできません。ですが、自分の魅力だ！と思われるものはすべて調査書に記入してもらえよう、担任の先生にご相談ください。

質問2 学外で〇〇といった活動をしているのですが、調査書に記入してかまいませんか。

解答2 自分の魅力だ！と思われるものはすべて調査書にご記入ください。書くべきか悩んだときは書いていただくことをおすすめします。特に、学外での活動は特記事項の欄に記入してもらってください。

質問3 中学1～3年生の評定を記入するのはどうしてですか。出願資格に関係があるのは3年生の評定だけですか。

解答3 出願資格に関係する評定は、3年生の評定のみです。全学年の評定を記入してもらっているのは、志願者がどのような中学校生活を送ってきたのかを参照するためです。

➤ 推薦書について

質問1 推薦書は現在の学校の先生に記入してもらわなくてははいけませんか。転校してきたばかりなので、以前通っていた学校の先生に書いてもらいたいのですが…。

解答1 転校などの理由により、現在在籍している学校で過ごしている日数が短く、自分のことをよく知っている以前通っていた学校の先生に書いてもらいたい場合は、以前通っていた学校の先生に書いてもらうことも可能です。

注意点 推薦書を別の学校の先生に書いてもらうときは、別の先生が書いた推薦書を現在通っている中学校に 厳封で 送付していただき、推薦書の原本と同封して高等部へ届けていただく必要があります。

質問2 昨年担任だった先生が現在は教育委員会で働いているのですが、その先生に推薦書を書いてもらってもよいですか。

解答2 できません。推薦書は、現在教職に就いている先生に記入してもらってください。

質問3 推薦書は退職した先生に書いてもらってもよいですか。

解答3 退職した方には推薦書を書く資格がありません。現職の先生に記入していただいでください。

質問4 推薦書は、①～③の欄をすべて同じ先生に書いてもらわなくてはいけませんか。

解答4 すべて違う先生に記入していただいても構いませんし、同じ先生に記入していただいても構いません。

質問5 「志願者をよく知る方」が外国人の場合はどのようにしたらよいですか。

解答5 日本語訳したものを本校所定の用紙にお書きください。また、原文を添付してください。

質問6 海外で9年の課程を修了し、現在日本国内の中学3年に在籍しています。推薦書はどちらの校長にお願いしたらよいですか。

解答6 卒業見込みも含め2つの中学校を卒業することになる場合は、どちらの校長でも構いません。

➤ 作文について

質問1 今年度の作文のテーマを教えてください。

解答1 入試要項をご覧ください。

質問2 作文は合否に関係ありますか。

解答2 この作文の内容だけで合否が決まる訳ではありませんが、選抜は適性試験、面接、書類審査を見て総合的に決めるので、一つの要素としてももちろん関係があります。

質問3 作文を書くときのポイントを教えてください。

解答3 誤字脱字には十分に注意し、あなたの考え方や活動が分かるように段落を設け、論理的に書いてください。

質問4 作文に書いてあることから面接で質問されるのですか。

解答4 面接では、入学願書・調査書・推薦書・作文の記載されていることについて質問することが多いです。もちろん、記載されていないことに関しても質問します。

質問5 作文を清書しているときに漢字を間違えてしまいました。訂正印で訂正するべきですか。

解答5 訂正印は使用ありません。修正テープで消していただいても構いません。

《面接について》

質問1 面接はどのような形式で行うのですか。

解答1 面接委員2名の個人面接で、時間は10分程度です。面接の時間は入試当日の適性検査後にお知らせします。また、面接は午後になる受験生もいるので昼食を持参してください。

質問2 面接ではどんなことを聞かれますか。

解答2 面接では、入学願書・調査書・推薦書・作文の記載されていることについて質問することが多いです。もちろん、記載されていないことに関しても質問します。

《適性検査について》

▶ 適性検査の方式について

質問1 適性検査の時間や解答の形式を教えてください。

解答1 国語（古典除く）・数学・英語（リスニングなし）の3教科を60分間で解いてもらいます。3教科の時間配分は受験生に任せられ、こちらからは「いま何分です」等の指示はいたしません。適性検査は本校における学習に必要な基礎学力を確かめるもので、特に受験準備を必要とする出題内容ではありません。解答はマークシート形式です。内容は公表していません。

質問2 適性検査には教科ごとに合格最低点があるのですか。

解答2 具体的な点数はお答えできませんが、各教科とも合格最低点を設けています。

質問3 適性検査の過去問を公表していないのはなぜですか。

解答3 推薦入試は、学力だけではなく、勉強面以外にも魅力のある受験生に入学してほしいと考えて作られた入試方式だからです。適性検査は本校における学習に必要な基礎学力を確かめるもので、特に受験準備を必要とする出題内容ではありません。

質問4 適性検査の問題の難易度はどれくらいですか。

解答4 詳しくはお答えできませんが、中学校で学んだ内容が定着しているかどうかを問うレベルの問題です。

質問5 適性検査の対策を教えてください。

解答5 適性検査の対策は、難解な応用問題よりも基礎的な問題を確実に解けるような練習をすることです。また、普段から時間配分を自分で考え、正確かつスピーディーに問題を解く練習をすることです。

《合否・補欠合格について》

➤ 合否について

質問1 書類審査・適性検査・面接のうち、一番ウェイトが大きいのはどれですか。

解答1 本校の推薦入試で入学してほしい生徒は、「学力」「人間的魅力」「基本的な生活習慣」の3つすべてを兼ね備えている人です。書類・適性・面接のどれもが大切です。

質問2 推薦入試では、補欠合格を出していますか。

解答2 推薦入試では補欠合格は出していません。

質問3 推薦入試に合格したあと、他の高校に入学を決めても構いませんか。

解答3 できません。推薦入試は本校を第1志望とする者を出願資格としているため、合格後の入学辞退はできません。

➤ 推薦入試と一般入試の併願について

質問1 推薦入試を受けたのちに一般入試を受験すると有利になりますか。

解答1 一般入試において補欠となった場合は、優遇する場合があります。

《入学手続きについて》

➤ 入学金・施設設備料の延納について

質問1 入学金・施設設備料は延納できますか。

解答1 推薦入試の場合は、本校が第一志望のため延納できません。

➤ 一般入試と併願している場合の受験料について

質問1 推薦・一般を併願しているのですが、推薦入試で合格した場合、一般入試の受験料はどうなりますか。

解答1 推薦入試で合格し、入学金及び施設設備料を納付した場合、推薦入試の入学手続き時にお渡しする書類に従って願い出ることにより、一般入試の受験料は事務手数料をひいた残金を後日お返しいたします。

《その他》

➤ 推薦入試と帰国生入試について

質問1 推薦入試と帰国生入試はどちらが入りやすいですか。

解答1 入試方式の特徴が異なります。自分の魅力をより発揮できると思う入試方式で受験してください。

➤ 推薦入試の欠席について

質問1 推薦入試を欠席した場合、どうなりますか。

解答1 推薦入試の出資格に「本校を第一希望とする人」という基準があるため、出身中学校長から本校へ、欠席理由書を提出していただきます。